



今月のみさとし／一つの言葉でもまごころから出たら百の空念仏に数等まさる。(ご聖訓第八巻 85頁)

御寺泉涌寺・結縁法要

金剛さまのご遺志を体し、御寺護持を誓う



御寺泉涌寺・靈明殿において6月4日、御寺泉涌寺護持会結縁報告・会員各家先亡諸精靈追福法要及び表彰式が、上村貞郎長老猊下を導師に執り行われた=結縁者・表彰者は下記参照。

午前11時より、職衆の厳かな読経が響く中、参加者が順に進み出て焼香。藤原博内務局長の先達で、皇祖皇靈に一同礼拝し般若心経を捧げた。その後、結縁者に結縁之証と折五条が、表彰者に感謝



状と記念品が上村長老猊下より手渡され、記念撮影が行われた=写真上。妙応殿での斎食では、上村長老猊下が、本年2月の天皇陛下御在位三十年記念式典と宮中茶会に本会長老さまと参列した思い出を語られながら哀悼の意を表され、最後に令和の御代の解脫会の発展に期待を寄せられた。続いて岡野英夫理事長は、改めて皇室の香華院たる御寺泉涌寺の尊い寺格を理解し、「何があろうと泉山を護持するとの金剛さまのご遺志を体し、今後も努力していきたい」と述べた。

令和元年 護持会 結縁者		
加藤 英昭	(江戸川)	瀬尾 正照 (広島世羅)
令和元年 護持会 表彰者		
豊田 清	(群馬川原湯)	内藤 堅一 (御徒町)
宮崎 武志	(群馬草津)	矢島 章八 (雜司ヶ谷)
秋山 慄	(大宮土呂)	川崎下作支部
福島 満夫	(大宮土呂)	徳田 繁雄
岡野 正	(埼玉北本宿)	内藤 裕 (小田原曾我)
秩父三沢支部		鈴木 由雄 (静岡袋井)
丸山 昭男	(松本里山辺)	名古屋町北支部
廣川 貞雄	(南新宿)	黒川 勝 (名古屋仲田)
織田 明予	(南新宿)	服部 邦俊 (愛知平和町)
齊藤 重信	(大久保)	梅村 吉男 (名古屋千成)
山田 盛和	(日野台)	杉本 正廣 (福井加茂河原)
渡辺 良勝	(日野台)	平林 政枝 (敦賀港)
櫻井 耕二	(日本橋中央)	中村 富夫 (敦賀港)
杉山 昌光	(大森八幡)	高島 幸夫 (鶴江神明)
関 日出夫	(大森八幡)	西山 義昭 (和歌山北島)
金城 多希	(目黒三谷)	西川 龍 (兵庫波賀町)

御寺泉涌寺護持会員の申込について

- 趣 旨：解脫金剛尊者のご遺志に則り、泉山護持会員を募り、その会費を御寺泉涌寺に献納して泉山護持の精神を具現化するもの。
 - 護持会費：年額 10万円又は 5万円（一括納入）。
 - 納入方法：入会時は会員申込書に会費を添え、支部を通して納入ください。次年度からは本部より納付書を送付いたします。
 - 献納時期：11月、御年祭時。
 - 篤志奉納者：継続会員でなく、希望により任意に納める方のこと。隨時受け付けております。金額は 10万円又は 5万円（一括納入）。
- ※ 詳細は本部・総務部 (03-3353-2191) までご連絡ください。

首都圏女性講座かたばみ会

オープン講座を開催

5月25日、首都圏女性講座かたばみ会のオープン講座が本部道場にて開催された。出講の岩田豊美指導員より「良き恋愛の先に幸せな結婚がある—今からでもやり直せる夫婦関係—」をテーマに、男女問わず120名の参加者が学んだ。

岩田指導員は本職のセラピストとしての視点から、まずは若者の多くが「恋愛」

に躊躇している現状を鑑み、「恋愛は人間関係。結婚前の恋愛のうちから男女がしっかりと話し合い、互いの感性や考え方などを理解する。そうした中で信頼関係を築いておくことが大事」と伝えた。後半では「夫婦のやり直し」について取り上げ、恋愛と同様に大切なのは「話し合い」であり、諦めず自分からパートナーに真剣に気持ちを話すことから夫婦のやり直しを図ることを呼びかけ、最後に「異性を愛することは、人として成長する上で欠かせないこと。それをぜひご家庭の中で



話してください」と述べた。

その後、年代ごとのグループディスカッションが行われ=写真、講義での学びを実践していくことを誓い合い、盛況のうちに午後3時半、閉会した。

仲介者養成コース

支部に貢献できる人となる



支部に貢献できる人材となる、「修法シート」に基づいた仲介者の育成を目的として5月25日～26日の日程で、仲介者養成コースが御靈地・解脱研修センターにて開催され、参加者30名が集った。

1日目の午前10時、大賀光夫修法部長の開講挨拶に始まり、宮坂保徳教務局長より「み教えの基本」、大賀修法部長より「御五法修業の目的と心得」を学んだ。

午後は、岩田始修法部次長より「事前・事後の在り方」について学習した後、事前に選択したA・Bの2つの教室に分かれた。Aコースは「靈動と靈魂の基本編」、Bコースは「靈動編」の項目について重点的に学びを深めた。

その後、7班に分かれての実修となつた。翌26日も引き続き実修が行われる中、班担当の指導員を囲んで御修業について

意見を交わし、日頃の仲介での疑問を相談するなどして真剣に学び合い、研修生同士で深く語り合う光景が見られた。また、今回は新たな試みとして、教区でも修法を学べるようにと教区の修法担当員が集められた班では、参加者がトレーナーとなり、仲介者の育成や指導ができるよう実修が行われた。

二日目の午後は、「教区・支部での現状」をテーマに、佐々木勉東北第1教区修法担当員、金原眞一東京第6教区修法担当員から発表があった。

最後に倉田正治常任理事が「支部での御修業の大切さ」をテーマに、自身の体験から「ご縁を尊ぶ大切さ」について講話し2日間を締めくくった。

研修生からは、「支部で御修業をする人が減少する中、改めて御修業の尊さをお伝えして、修業者の増加にお使いいただきたい」「研修では仲介者としての基本を学ぶことができた」など前向きな感想が寄せられた。

九州1日コース

立教100年に向けて、九州の魅力を全国へ！

今年で8回目を迎えた本部主催の研修・九州1日コースが6月2日にサンメッセ鳥栖にて開催され、九州全域より48名が参加し、研鑽を深めた。

まず開講式にて、弘中由治教区長による「相手に合わせる心を大切に、会員増を目指そう」との呼びかけに、参加者は参加姿勢を確認し、研修に臨んだ。

「学習1・み教えの基本」では、三浦純教育部長が立教100年に向かう歩みとし

て、金剛さまが“我なきあと”を見据えてご指導された三建碑に額づくりを中心とした学びの大切さを伝えた。

昼食後は「みんなで創ろう九州三聖地」と題して、グループ毎に九州の各聖地について意見を交換し盛り上がりをみせた。続く「学習2・修驗実証への道」では、西脇武利教育部次長が体験を交えて感謝会の大切さや座談会開催の意義を伝えた。最後の「学習3・命の尊さと供養」では三



浦教育部長が先祖から伝えられてきた生命の尊さと親心の温かさに触れた講義を行い、研修生は喜びの中で研修を終えた。

参加者から、先祖への感謝の供養、茶話会や座談会の開催、支部感謝会のお誘いなど、一層の躍進を誓う声が多く聞かれ、九州の更なる発展が期待される。

黒姫出張所・御守護神祭

令和元年の豊作を祈願



5月25日、長野県信濃町・黒姫出張所において第49回黒姫弁財天大神例祭及び第47回天園蔵五柱五成大神例祭が執り行われ、岡野英夫理事長をはじめ来賓、甲信教区会員、天茶耕作者組合員らが参列した。式典は各外宮において、祝詞奏上、玉串奉奠、拝礼行事が行われ、本年の天茶の豊作が祈願された。

直会では、岡野理事長が挨拶で「神の領分と人間の領分をえるところに様々な繁栄がある」と述べた後、信濃町産業観光課丸山茂幸課長より祝辞を頂き、令和元年の例祭を祝い合った。

須賀神社・例大祭

須賀神社の神輿をお迎え



本部道場の氏神となる四谷須賀神社の例大祭が5月31から6月3日の期間に催行され、毎年恒例となる神輿渡御の接待が6月1日に

解脱会本部玄関で行われ、本部職員が出迎えた。

当日、道場では報恩日行事が行われる中、午後2時半頃に子供神輿と子供山車が到着し、ジュースやお菓子が用意された南側駐車場には子供たちや保護者で賑わった。また午後6時頃には威勢のいい大人神輿が到着し、用意されたビールやおつまみに担ぎ手は一時の休憩を楽しんでいた。



岡野聖法長老・聖葬祭（令和元年5月19日）

来賓をはじめ1600余名が長老さまとの別れを惜しむ

追悼特別版（3面～6面）

66年余にわたり本会の重責を担われ、新宗連などでも活躍された岡野聖法長老さまの教団葬「聖葬祭」が5月19日午後1時より執り行われた。

17～18の両日、専門業者によってメイン会場となる解脱鍊心館の設営がなされ、全国会員の真心による供花に彩られた壮麗な祭壇が設けられ、センタービルでは職員によって特設会場が整えられた。

当日は、好天に恵まれる中、御寺泉涌寺・上村貞郎長老猊下、醍醐寺・仲田順和座主猊下はじめ伊勢神宮、橿原神宮、神社本庁、新宗連各教団代表、衆参両院議員など各界を代表する多数の来賓を迎える、支部長以上の本部役職者は解脱鍊心館に、研修センター2階と4階には一般会員が参集し総計1600余名を数えた。

聖葬祭は、全員による黙祷にはじまり、メモリアルビデオにより長老さまの足跡を偲んだ。

渡辺孝彦葬儀委員長の挨拶に続く弔

辞では、上村長老猊下が生前の思い出を語られ「聖法長老さまの人生は、解脱会と共に激動の人生だった様に思います。どうか安らかなるご冥福を切に祈り上げます」と述べられた。

仲田座主猊下は「平成の年静かに暮れゆく一日、宮中に於いて天皇皇后両陛下のお茶の宴に招かれしことは、まさに聖法長老の全生涯を莊厳するにふさわしい誇りであり、全宗教者の誉れでありましょう」と締めくくられた。

庭野日鑑新宗連顧問・立正佼成会会長は、平成20年から新宗連理事長の在任中には、大きな節目において多くの行事が続き、多大なご尽力をされた感謝の言葉を述べられた。

最後に本会を代表して、小田敏郎相談役は「長老さまが常々念願されていた、金剛さまのみ教え、世相善導、人心救済に向かって、私たちは努力する所存です」と締めくくった。

続く天茶供養は、参加者一同が心を一つにして特別に謹製された供養札を



上村貞郎長老猊下



仲田順和座主猊下



庭野日鑑新宗連顧問



小田敏郎相談役

通し般若心経三巻をもって行われた。この後、岡野貞子長老夫人が御礼の言葉を、岡野英夫理事長が謝辞を述べた。

最後には靈前への献花が行われ、遺族の献花、来賓の方々より本部役員、支部長と続き、参列者全員が鍊心館の遺影に向かって生花を捧げ、長老さまに別れを告げた。



参列者一同、長老さまへ黙祷を捧げる（解脱鍊心館）

岡野聖法長老・聖葬祭 (令和元年5月19日)



式場に設けられた祭壇は、全国の教区と支部から贈られた長老さまへの感謝の真心が籠った一輪一輪の生花で埋め尽くされた（解脱鍊心館）



心を合わせ、長老さまへ般若心経三巻の天茶供養を厳修



特別供養札を通して長老さまのご冥福を祈った



葬儀委員長として挨拶する渡辺孝彦顧問



遺族代表として謝辞を述べる岡野貞子様



教団代表として謝辞を述べる岡野英夫理事長



メモリアルビデオでご生涯を偲ぶ参列者（研修センタービル4階）



一般会員の会場となった研修センタービルの各会場でも同時に行われた天茶供養（研修センタービル4階）



モニターで式場と一体となる参列者（研修センタービル2階・食堂）



鍊心館の入り口には、高さ 3.6 メートルの立て看板が設置された



献花の後、参列者に一礼する遺族



献花を捧げられる上村貞郎長老猊下



来賓に続き、支部長以上の本部役職者が献花を捧げた



遠方の参列者より順に行われた一般献花



米国会員から長老さまへ贈られたメッセージボード



真心からの供養を捧げる参列者（研修センタービル 2階・教室）



退場する参列者を葬儀委員長・副委員長・遺族が見送った



1600 余名の参列者全員が献花を捧げた

岡野聖法長老・聖葬祭(令和元年5月19日)



14歳で教主に就任



会員の見送りを受け、岸田英山教統と渡米



樋田貞子様との結婚式



大祭にて、おみたま櫃奉迎安置の儀



年祭・金剛宝塔前にて敬白文奏上



第62回式年遷宮御木曳行事に参加



基督教80年大祭・米国会員に囲まれて



日本宗教界を代表し、政府主催の全国戦没者追悼式に参列



長老・推戴式

岡野聖法長老 略歴

昭和 14 年 4月 25 日 岡野御本家に生まれ、聖と名付けられる。

昭和 28 年 3月 14歳で法燈継承者に選ばれ、解脱報恩感謝会・教主に就任。

昭和 37 年 3月 早稲田大学東洋哲学科卒。

同年 9月 本部組織等改編に伴い、法主と改められる。

昭和 40 年 7月 修行のため岸田英山教統と共に渡米。

昭和 43 年 7月 解脱会青年本部長に就任。

同年 12月 11日 樋田貞子様（群馬川原湯支部）と結婚。

昭和 44 年 10月 7日 長男・英祥様（現法主さま）誕生。

昭和 48 年 10月 第60回式年遷宮遷御の儀に列席。

昭和 50 年 10月 ブラジルより文化勲章を受ける。

昭和 55 年 3月 東南アジア平和使節団に参加。

昭和 55 年 8月 伊勢神宮・評議員。

昭和 56 年 4月 泉涌寺友好訪中団に参加。

同年 11月 第2回アジア宗教者平和会議（インド）に出席。

昭和 58 年 6月 伊勢神宮崇敬会参与として評議会に参加。

昭和 61 年 6月 韓国平和使節団の副団長として韓国を訪問。

平成 5 年 10月 2日 第61回式年遷宮（内宮）「遷御の儀」に「参列員」として列席される。

平成 6 年 11月 9日 天皇皇后両陛下、御寺泉涌寺ご参拝に際し奉迎送する。

平成 9 年 6月 日本国會議・代表委員。

平成 10 年 10月 23日 新宗教団体連合会（新宗連）常任理事。

平成 13 年 4月 宗教法人審議会（文部科学省）委員。

同年 12月 2日 皇居前にて挙行された「新宮さまのご誕生をお祝いする国民の集い」に参列。

平成 14 年 8月 比叡山宗教サミット15周年「平和への祈りとイスラムとの対話集会」に参加。

平成 15 年 2月 新宗連の結成50周年記念「ナムトクの丘・世界平和祈念の集い」に参加。

平成 17 年 4月 日本宗教連盟（日宗連）参議。

平成 18 年 9月 日比谷公会堂で開催され

た「悠仁親王殿下のご誕生をお祝いする集い」に参列。

同年 10月 新宗連・副理事長。

平成 19 年 3月 御寺泉涌寺・上村貞郎長老貌下晋山式に参列。

同年 7月 第62回式年遷宮における御木曳行事に1800余名の奉曳団と共に参加される。

平成 20 年 10月 新宗連・理事長就任。

平成 21 年 4月 日宗連・理事長就任。

同年 8月 15日 全国戦没者追悼式（日本武道館）に日宗連理事長として参列、献花を捧げる。

同年 11月 醍醐寺開山・理源大師1100年御遠忌慶讃大法要の導師を務める。

同年 11月 天皇陛下御在位20年奉祝委員として天皇皇后両陛下のお招きにより宮中茶会に参内。

平成 25 年 10月 2日 第62回式年遷宮（内宮）「遷御の儀」に「参列員」として列席。

平成 29 年 1月 解脱会長老に就任。

平成 31 年 2月 24日 政府主催の「天皇陛下在位30年式典」に参列。

同年 2月 26日 天皇皇后両陛下のお召しにより宮中茶会に参内。

同年 4月 3日 靈界入りされる。

埼玉北本宿支部創立 70 周年記念感謝会

目標に向かって一歩一歩共に歩む

埼玉北本宿支部は 6 月 9 日、支部創立 70 周年記念感謝会を御靈地・研修センターにて行い、埼玉教区長はじめ縁ある会員、支部会員約 200 名が出席し、大きな節目を祝った。

同支部は、昭和 24 年に設立。岡本松治氏が初代支部代表、同 25 年に岡野武徳氏が初代支部長、同 26 年に義昌氏、同 40 年に正氏が継承、平成 29 年に茂樹氏が四代目支部長に就任し、現在に至る。

第 1 部式典では、岡野支部長が「御代替わりの機に、多くのお蔭によって支部の節目を迎えたことを寿ぎ、新たな目標に向かって一歩一歩皆さんと共に歩んでいきたい」と挨拶した。

本部より出講の岡野英夫理事長は、神

心を磨き、支部長を中心に、新時代を元気に歩むことを期待された。その後、来賓の山本和雄埼玉教区長、子支部の品川順一川口中央支部長が祝辞を述べた。

記念講演では、チベット出身の声楽家・バイマー・ヤンジンさんが、日本での家

族との生活で感じた日本の素晴らしさと信仰するチベット仏教に通ずる見えないものを尊ぶみ教えの魅力について述べられた。その後、名誉支部長、支部長夫妻へ花束贈呈、功労者感謝状授与、物故者供養、万歳三唱と続いた。

第 2 部直会では、会員有志のフラダンス、コーラス、手品、カラオケなどが次々に披露され会場が沸く中、手締めをもって記念祝賀会は終了した。



浅草支部創立 70 周年記念感謝会

立教 100 年まで一人が一人を導く

浅草支部は 6 月 8 日、支部創立 70 周年記念感謝会を支部道場にて開催、縁ある支部長、支部会員らが集い、終始和やかな雰囲気の中で行われた。

当支部は、金剛さまより直接学びを深めた田村周子氏が昭和 22 年、秩父長瀬支部を創設したことから始まり、同 24 年、東京・浅草へ移住、浅草支部と支部名を変更し、兄の義治氏が継承。同 26 年周子氏が継承、同 32 年富彦氏が継承、平成 16 年に和彦氏が五代目支部長に就任し、現在に至る。

午後 1 時に始まった第 1 部式典では、

まず田村支部長が「立教 100 年までに、一人が一人を必ず導き、次世代へみ教えを伝え、支部に足を運ぶ癖がつくようお互いに努力させていただきましょう」と挨拶した。

講話では岡野英夫理事長が、「改めてみ教えを見つめ、自分自身のものの考え方をもう一度構築し、新たな教えを学

んでいく必要がある」と述べられた。

その後、岡野理事長発声による万歳三唱、支部長夫妻への花束贈呈と続いた。

第 2 部直会では、詩吟、鏡開き、乾杯、歌手・水野友恵さんの歌の披露や青年部による福引など、盛大な祝宴となった。



和歌山教区・幹事研修

教区の活性化に向けて



和歌山教区では 4 月 21 日、JA 和歌山を会場に幹事研修会を開催し、本部より上田久雄指導員が講話した。研修会は、中村泰明教区長が「教区を活性化していこう」と促した後、津村英雄本部相談役が「思いやりの実践が自身の向上につながる」と生活行の大切さを、和田雅夫本部理事が「女性がもっと活躍できる場を考えたい」とそれぞれ挨拶した後、上田指導員が講話に立った。講話では、解脱会の歴史や金剛さまのご精神、また自身の体験を交えながら秘義三法の尊さを話すなど多岐にわたってみ教えを実践する大切さを述べ、最後に自己を認識し自身の向上の重要性を強調した。

東京第 3 教区・石神井城址慰靈祭

地域の発展と怨親平等を祈り

東京第 3 教区と石神井城址碑保存会の共催による第 81 回石神井城址慰靈祭が、4 月 29 日に石神井公園内の石神井城址において開催された。当行事は、室町時代に石神井城主であった豊島氏が太田氏に滅ぼされた戦いで、倒れた双方の靈魂に対して怨親平等の供養を捧げるもの。

慰靈祭には、本部より稻子知義指導員が講話し、93 名が参加した。また、氏神である氷川神社宮司、地元選出の国会・都議会・区議会の各議員、商店街や町会など地元名士多数を来賓に迎え、会員と共に戦乱に倒れた靈魂をはじめ土地の靈魂への安寧ならびに地域の繁栄を祈り天茶供養を厳修した。



東京第7教区・女性大会

「思いやりに生きよう」をテーマに



東京第7教区では4月17日、「思いやりに生きよう」をテーマに女性大会を川崎新城支部にて開催した。本部より倉橋一美指導員が出講、約90名が参加した。

開会前に災害募金を目的としたバザーを催し、午後1時に開式となった。大会は、坂本栄子さん(川崎元住吉支部)と奈良場由美子さん(川崎大師支部)の体験発表や倉橋指導員による講話の他、二人一組になりハンドクリームを使った手のマッサージで、思いやりの心を伝え合うレクリエーションなど、五感を使って多角的に学びを深め合った。

神戸中央支部・天皇陛下御即位祈願式

天皇陛下の御即位を祝い



神戸中央支部は5月1日午前9時より、支部道場に約90名が集い、中山満介支部長先達のもと天皇陛下御即位祈願式を執行。天皇陛下の御即位を祝うと共に御皇室の御繁栄と日本の繁栄、そして世界平和を祈念し宝号千反を念唱。続いてすべての靈魂に対し世界人類の平等大供養を厳修し、第1部が終了。第2部は関西道場の奉祝報恩日に参加した後、有志34名が御寺泉涌寺各所を巡り大変有意義な一日となった。

夏季青年コース

- 日 程：①8月5日(月)～11日(日)
②8月5日(月)～8日(木)
- 会 場：解脱研修センター及び外部研修
- 対 象：満16歳(高校生)～30歳(定員30名)
- 申込締切：7月15日(月)
- 研修費：①20,000円 ②14,000円(予定)

ジュニア with ユースコース

- 日 程：8月9日(金)～11日(日)
- 会 場：解脱研修センター及び周辺施設
- 対 象：小中学生(定員40名)
- 申込締切：7月15日(月)
- 研修費：①12,000円(予定)
※両コース共に兄弟姉妹割引があります
- 申込・お問い合わせ：解脱会教育部研修係
TEL03-3353-3667 FAX03-3353-3708

名古屋第1教区・修法研修

青年部主体に研鑽！



名古屋第1教区は5月26日午後1時より中部道場にて教区修法研修会を開催、39名が研鑽した。今回は青年部を主体としたプログラムが組まれ、司会や先達、班編成等を青年部が担当して行った。

樋口勉教区長の開会挨拶の後、森淳二教区出講員の体験発表では青年部時代の体験を丁寧に伝え、好評を得た。各班に分かれて行われた実修では青年部員が優先的に修業者となり、事後の話し合いでは活発な質疑等が行われた。最後に服部宇之輔指導員が総評を述べ、充実した研修は終了となった。

下馬支部・継承記念感謝会

希望を持って支部継承



下馬支部では5月18日に継承記念感謝会を開催し、本部より小田敏郎指導員が出講した。鈴木盛一名誉支

部長から大塚信美支部長への継承と新元号の始まりという二重の喜びに満ちた中、来賓と会員たち43名が新たに成了した支部御神前に参集。初代の小林正司支部長から数えて五代目となる大塚支部長は「御代替わりという特別な時期に支部継承とは名誉なこと」と述べた後、支部長の決意とこれまで以上に志を高めて邁進することを支部会員へ促した。鈴木名譽支部長は「15年間のお役目を無事に全うし、継承できた」と喜びを述べた。

第159回 健康学園コース

- 日 程：8月24日(土)～25日(日)
- 会 場：解脱研修センター
- 対 象：どなたでも参加できます(法縁者も可)
- 定 員：60名 ●研修費：10,000円
- 申込締切：7月25日(木)
- 申込・お問い合わせ：解脱会教育部健康指導係・研修係
TEL03-3353-3667 御靈地健康指導室 TEL048-593-0190

